

【基本方針1】誰もが文化芸術に触れ合える機会の創出(施策の方向Ⅰ 心の豊かさを目指して、Ⅱ 文化芸術をすべての市民に)

No.	新	事業名	事業の実施主体	協力・連携先	プラン基本方針	事業目的	参加者数	R3計画時	R3実績	R4計画時	R4実績	R4目的達成度、課題など実施により感じたこと	R5方向性	R5計画時	市総合計画	まちづくり	R3	R4速報値
1		多文化共生理解講座	伊賀市国際交流協会	人権生活環境部 多文化共生課	1-I 2-I 3-I 3-II 6-I 7-I 7-II	多様な文化的背景がある市民が、お互いの文化を学び、正しい理解を深めることで多文化共生の地域づくりを進めます。	参加者数 開催数 開催経費 収入				55人 3回 62,143円 3,500円	コロナ禍で計画を立てるのが難しかったが、感染予防対策を行いながら実施することができた。参加者数が少ないのが課題である。	継続	100人 5回 300,000円	6-2 多文化共生	満足度 参画度	62.6% 41.6%	60.0% 45.1%
2		多文化共生理解講座	人権生活環境部 多文化共生課		1-I 2-I 3-I 3-II 6-I 7-I 7-II	多様な文化的背景がある市民が、お互いの文化を学び、正しい理解を深めることで多文化共生の地域づくりを進めます。	参加者数 開催数 開催経費 収入				14人 2回 17,553円 7,000円	コロナ禍で計画を立てるのが難しかったが、感染予防対策を行いながら実施することができた。参加者からは好評であるが、参加者が固定している傾向がある。	継続	60人 6回 120,000円				
3		伊賀市国際交流フェスタ2022	人権生活環境部 多文化共生課	人権生活環境部 多文化共生課	1-I 1-II 2-I 2-II 5-I	在住外国人と地域住民の交流の場を提供し、市民の国際意識の向上と相互理解、友好交流を深め、多文化共生社会の構築を目指す。	参加者数 開催数 開催経費 収入	150人 1回 500,000円 0円	154人 1回 500,000円 0円	200人 1回 500,000円 0円	1000人 1回 861,474円 222,000円	新型コロナウイルス感染拡大の繰り返しにより開催が危ぶまれたが、感染予防対策を強化し、コロナ前と同等の開催ができた。このフェスタ全般を通じて市民の国際感覚や多文化共生社会への理解が向上するとともに、地域に住む外国人が支援団体の力を借り、或いは地域住民と協力して地域づくりに取り組めるよう	継続	1000人 1回 700,000円				
4		「世界とつながる写真展」	伊賀市国際交流協会	人権生活環境部 多文化共生課	1-I 1-II 2-I 2-II 5-I	世界に目を向け、国際意識を高め異文化に視覚的に触れる機会をつくる。	参加者数 開催数 開催経費 収入	150人 2回 -	250人 2回 -	150人 2回 -	展示のため 2回 16,060円	世界には日本と異なる多様な文化、価値観があることを知る。伊賀市には40か国以上の外国人が暮らしているが、展示写真から日本との生活程度の違いや文化の違いを読み解くことができ、世界の文化の多様性を発信することができた。	他の事業と組み合わせ					
5		伊賀市民美術展覧会(市展「いが」)	企画振興部 文化振興課 (公財)伊賀市文化都市協会		1-I 1-II 2-II 3-I 4-I 5-II 7-I	市民の造形芸術の創作意欲を高めていただくとともに、市民文化の向上に寄与する	参加者数 開催数 開催経費 収入	1,400人 1回 556,000円 -	1,043人 1回 562,194円 400,000円	1,400人 1回 577,000円 -	991人 1回 871,377円 103,000円	応募点数に大きな変化はなかったが、昨年度から開場入場者数が減少した。開催曜日の関係ではないかと推測される。	継続	1,400人 1回 210,000円 100,000円	6-3 文化・芸術	満足度 参画度	57.3% 33.9%	54.5% 38.6%
6		伊賀市民文化祭	伊賀市民文化祭実行委員会 企画振興部 文化振興課	伊賀芸術文化協会、各支所管内サークル連絡協議会、各活動ジャンル代表者	1-I 1-II 3-I 7-I 7-II	文化芸術活動に取り組む市民の日頃の活動の成果を発表する場として開催することで、市民の文化意識と活動の向上を図る。	参加者数 開催数 開催経費 収入	2,000人 1回 1,745,000円 400,000円	2,744人 1回 1,965,000円 306,167円	2,000人 1回 1,773,000円 400,000円	2,139人 1回 1,844,710円 315,000円	目標の入場者数は達成したが、部門によって入場者数に大きく差があるため、どの部門でも人を呼べるようさらに工夫していく。	継続	2,000人 1回 1,998,000円 350,000円				
7		三重県立美術館友の会美術セミナー	企画振興部 文化振興課美術博物館 建設準備室		1-I 2-II 5-II	県立美術館で実施される展覧会に関する講座を伊賀市で開催することにより、よりバリエーションに富んだ文化芸術に触れる機会を提供する	参加者数 開催数 開催経費 収入				30人 1回 -	(来年度は開催予定が無いため開催しない) 伊賀市のゆかりのある作家の生誕記念年には今後も実施したい。	中止・廃止					
8		本庁舎市民ミニギャラリー	企画振興部 文化振興課美術博物館 建設準備室		1-I 3-II 4-I 4-II 5-II 7-I	市が所蔵する美術作品を、来庁者の多い1階ロビーに展示する。また、市民に広く絵画等の展示場所を提供することで、市民の文化芸術活動の発表の場を確保する。これらの取り組みにより市民が文化芸術に触れる機会を創出	参加者数 開催数 開催経費 収入				12回 12回 0円 0円	毎月展示を実施できた。市民からの利用申請は6件(6カ月)だったため他の月は市の企画した展示を行った。	継続	12回 0円 0円				
9		バーチャル美術館	企画振興部 文化振興課		1-I 1-I 5-II	誰もが文化芸術に触れ合える機会の創出に向け、コロナ禍により文化芸術の楽しみ方が多様化し、インターネット上でバーチャル技術を活用して疑似体験する取り組みが始まっていることから、市においても寄贈された芸術作品を展示するバーチャル美術館を構築する	参加者数 開催数 開催経費 収入					(R3は事業計画なし)	中止・廃止					
10		青山ふるさと美術文化展覧会	青山ふるさと美術文化展覧会実行委員会 (教育委員会事務局生涯学習課)	青山老人クラブ連合会・青山文化サークル連絡協議会	1-I 3-II 4-I 4-II 5-II 7-I	青山地区住民の作品の発表の場とし、創作意欲を高めるとともに、地域の美術文化の向上に寄与する	参加者数 開催数 開催経費 収入	200人 1回 0円 0円	328人 1回 0円 0円	200人 1回 0円 0円		青山ホールが工事で使用できず、他会場を検討したが新型コロナウイルス感染症の心配もあり、開催できなかった。	継続					
11		伊賀市立上野総合市民病院	上野総合市民病院	上野美術クラブほか		患者さんや来院された方への癒しを提供する	参加者数 開催数 開催経費 収入					(R3は事業計画なし)	継続					
12		サークルまつり	上野サークル協議会 (教育委員会事務局生涯学習課)		1-II 2-I 2-II 5-I	上野サークル協議会会員の活動発表及び会員相互の交流。多くの市民への生涯学習としてのサークル参加のお願い。市民とサークルとの交流の場、として実施する。	参加者数 開催数 開催経費 収入					(R3は事業計画なし)	継続					

【基本方針2】子どもたちが文化芸術を体感できる機会の拡充(施策の方向Ⅰ 子どもたちの心を豊かに、Ⅱ 成長に即した文化芸術の提供)

No.	新	事業名	事業の実施主体	協力・連携先	プラン基本方針	事業目的	参加者数	R3計画時	R3実績	R4計画時	R4実績	R4目的達成度、課題など実施により感じたこと	R5方向性	R5計画時	市総合計画	まちづくり	R3	R4速報値	
13		読み聞かせ会	教育委員会事務局 上野図書館	読み聞かせボランティア (いがぐり、よもよも、ちいさなねこ、おはなしコットン、はあと&はあと、きらきら、だっこ、ひつじ、どようこ、お話の国アリス、kikoきこ、みなみ風他個人)	1-I 1-II 2-I 2-II 3-I 3-II 4-I 7-I 7-II	幼い頃から、読み聞かせをすることで、言葉やおはなしの世界を知り、本に親しむ機会を作る。また、図書館(室)での読み聞かせ会に参加することで、絵本や本、図書館に親しみをもち、読書や図書館利用につなげていくため。	参加者数 開催数 開催経費 収入		162回	112回	105回 144回	3,722人 2回 3,390,000円 3,390,000円	・新型コロナウイルスによる中止はなく、前年より年間の参加者は増えた。しかし、参加者が集まらないこともあり、効果的な周知が課題。 ・従事ボランティアの高齢化、人員不足が課題。 ・参加者が低年齢化傾向にある。 ・読み聞かせボランティアの実習会を含めた募集により、新しい読み聞かせボランティアグループが1団体設立された。	継続	107回	5-5 生涯学習	満足度 参画度	47.9% 32.4%	48.5% 32.2%
14		ファミリースマイルアップ講座	人権生活環境部 子育て包括支援センター 男女共同参画センター 伊賀市文化都市協会		2-I 2-II	子育て世代の家族みんな楽しく人権感覚を養うことで、ワーク・ライフ・バランス(WLB)の実現につなげる。	参加者数 開催数 開催経費 収入				60人 1回 45,000円 0円	保育園入所前の親子に対して、人権学習の場と生の音楽にふれる機会を設けることができた。 またファミリースマイルアップ講座の推奨する「家族の話し合い」の大切さや父親・母親という性別での役割分担ではなく、その家族にあった役割分担を考えるきっかけになった。	継続	1回 45,000円 0円					

【基本方針3】担い手や後継者を育成し次世代へと繋ぐ(施策の方向Ⅰ 人づくりとまちづくり、Ⅱ 多様な人材活用による文化芸術の振興)

No.	新	事業名	事業の実施主体	協力・連携先	プラン基本方針	事業目的	参加者数	R3計画時	R3実績	R4計画時	R4実績	R4目的達成度、課題など実施により感じたこと	R5方向性	R5計画時	市総合計画	まちづくり	R3	R4速報値
15		伊賀の伝統文化親子体験フェスタ2022～伝統的工芸品から学ぶ～	産業振興部 商工労働課		2-I 3-I	少子高齢化や急激な人口減少により、伝統産業における担い手不足は著しく、伝統を継承していくためには担い手の確保が必要不可欠となっている。そこで、本事業を実施することにより、少しでも多くの子どもたちやその保護者が伝統文化に触れる機会を作り、郷土の伝統的工芸品に対する興味・関心を高めてもらうことで、将来の伝統産業の担い手確保に繋げる。	参加者数 開催数 開催経費 収入				480人 2回 3,390,000円 3,390,000円	コロナ禍であったものの規模を縮小して開催でき、郷土の伝統工芸品に対する興味・関心を高めることができた。ただし、新規事業であったため、タイムスケジュールの調整が甘く参加者の待機時間が発生したり、誘導がうまくいかなかったりする場面があった。	継続		5-5 商工業・産業立地	満足度 参画度		
16		伊賀市子ども能楽教室	企画振興部 文化振興課		1-I 2-I 2-II 4-II 5-I	伊賀市は能楽創世観阿弥の生誕地と言われており、毎年秋に開催される上野城能楽は35年以上の歴史がある。こうした地域の文化や伝統芸能を次世代に継承していくことを目的に、子ども能楽教室を開催する。	参加者数 開催数 開催経費 収入				10人 17回 580,000円 30,000円	能楽教室の開催により、地域の文化と伝統芸能に対する子どもたちの関心を高めることができた。	継続	10人 17回 580,000円 30,000円	6-4 歴史・文化遺産	満足度 参画度	63.5% 37.4%	58.5% 39.2%

【基本方針3】担い手や後継者を育成し次世代へと繋ぐ(施策の方向Ⅰ人づくりとまちづくり、Ⅱ多様な人材活用による文化芸術の振興)

No.	新	事業名	事業の実施主体	協力・連携先	プラン基本方針	事業目的	参加者数	R3計画時	R3実績	R4計画時	R4実績	R4目的達成度、課題など実施により感じたこと	R5方向性	R5計画時	市総合計画施策	まちづくりアン	R3	R4速報値
17		上野城新能	上野城新能実施委員会(企画振興部文化振興課)	伊賀市、伊賀市教育委員会、(公財)伊賀文化産業協会、(一社)伊賀上野観光協会、(公財)伊賀市文化都市協会ほか	1-I 4-II 5-I	能楽創世親阿弥の生誕地である伊賀市において、毎年中秋の名月の頃に行われる上野城新能を開催することで、伝統文化の継承、発信を図るとともに、市民等が伝統文化に触れる機会を創出する。	参加者数 開催数 開催経費 収入	(R3はコロナ禍の状況から実施なし)	250人 1回 2,840,000円 2,840,000円	224人 1回 2,113,721円 2,646,846円	R4目的達成度、課題など実施により感じたこと ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため対策を行い、3年ぶりに開催することができた。 ・収入確保のため、入場料有料とした。 ・こども能楽教室の受講生も出演し、新しい取組みを行うこともできた。	継続	250人 1回 2,711,000円 2,711,000円	6-3 文化・芸術	満足度 57.3%	48.5%		

【基本方針4】施設の整備・有効活用による文化芸術環境の整備(施策の方向Ⅰ施設の管理と機能の発揮、Ⅱ施設の保存と有効活用)

No.	新	事業名	事業の実施主体	協力・連携先	プラン基本方針	事業目的	参加者数	R3計画時	R3実績	R4計画時	R4実績	R4目的達成度、課題など実施により感じたこと	R5方向性	R5計画時	市総合計画施策	まちづくりアン	R3	R4速報値
18		史跡芭蕉翁生家改修事業	企画振興部文化振興課		4-I 4-II 5-I	経年劣化した建物等の保存改修工事を令和3年度に完了した。本年度は、審議会で確認した内容を踏まえ、木塀改修や庭園整備を含む後庭改修工事を行う。	参加者数 開催数 開催経費 収入	- - 83,811,200円 -	- - 105,880,500円 -	- - 7,952,450円 -	- - 7,234,700円 -	専門家による略歴調査を行い木塀改修や庭園の整備を行った。	継続	- - - -	6-3 文化・芸術	満足度 57.3%	54.5%	
19		文化ホール改修事業	企画振興部文化振興課		4-I 4-II	旧青山支所等の解体に伴う外壁や設備の改修のため、また、特定吊天井等の改修のため、青山ホールの改修工事を行う。	参加者数 開催数 開催経費 収入	- - 17,600,000円 -	- - 16,392,200円 -	- - 203,076,500円 -	- - 196,582,100円 -	伊賀市文化会館等の文化ホールは経年による施設の老朽化が進んでおり、計画的な設備更新、施設改修を行う必要がある。	継続	- - 41,195,000円 -		参画度 33.9%	38.6%	
20		文化施設改修事業	企画振興部文化振興課		4-I 4-II	新型コロナウイルス感染症対策のため、養虫庵のトイレを洋式化、非接触化するための改修工事を行う。また、劣化した養虫庵の茅葺屋根改修を行う。	参加者数 開催数 開催経費 収入	- - 6,718,000円 -	- - -	- - 14,993,000円 -	- - 14,124,000円 -	養虫庵のトイレ改修は、令和4年度に実施延期していたが完了した。 R4:3,253,800円 養虫庵茅葺屋根改修工事完了した。 R4:10,870,200円	継続	- - 11,913,000円 -		満足度 57.3%	54.5%	
21	新	文化施設整備事業	企画振興部文化振興課		5-I 4-I 4-II 6-I 7-I 7-II	遺贈を受けた岸宏子邸を活用し、地域文化としての文学の振興を図る。	参加者数 開催数 開催経費 収入	(R3、R4は事業計画なし)	- - -	- - -	- - 249,370円 -		新規	- - 32,785,000円 -				
22	新	伊賀市美術館博物館建設	企画振興部美術館博物館建設準備室		1-I 1-II 4-II 5-I 5-II	伊賀市文化振興ビジョンでは、基本方針として「誰もが文化芸術に触れ合える機会の創出」や、「施設の整備・有効活用により文化芸術環境を整える」ことを掲げている。このため、市に寄贈された美術作品や文化財などを適切に保管・研究・活用するための美術館について、過去より建設の議論が行われてきた芭蕉翁記念館の機能も含めた施設を整備する。	参加者数 開催数 開催経費 収入	(R3、R4は事業計画なし)	- - -	- - -	- - -			- - -				

【基本方針5】歴史と風土が育む文化芸術の継承と新たな文化芸術の創造(施策の方向Ⅰ郷土が育んできた歴史・文化の再評価、Ⅱ新しい文化芸術の創造)

No.	新	事業名	事業の実施主体	協力・連携先	プラン基本方針	事業目的	参加者数	R3計画時	R3実績	R4計画時	R4実績	R4目的達成度、課題など実施により感じたこと	R5方向性	R5計画時	市総合計画施策	まちづくりアン	R3	R4速報値
23		デジタルミュージアム 秘蔵の国 伊賀	教育委員会事務局上野図書館	(一社)伊賀上野観光協会	1-I 1-II 2-I 2-II 3-I 3-II 4-I 4-II 5-I 5-II	伊賀市等が所蔵する多くの歴史資料等をインターネット上で公開することで、子どもたちが学校の授業で学ぶとともに、地域においても文化活動として役立てていただくため、また、全国の人に伊賀の歴史や文化を知っていただくため、魅力発信ツールとして活用していく。	参加者数 開催数 開催経費 収入	- - 11,975,000円 -	23,869アクセス - 11,934,320円 -	- - 792,000円 -	10,628アクセス - 792,000円 -	・貴重な資料をインターネットにより多くの方に閲覧してもらえる ・郷土教育担当の教職員の研修の場において、使用説明を行う ・市民に更なる周知が必要。 ・学習や研究、観光などにおいて更なる活用を促す必要がある。	継続	- - 792,000円 -	5-5 生涯学習	満足度 47.9%	48.5%	
24		郷土の歴史夜咄会	教育委員会事務局上野図書館		1-I 1-II 2-I 3-I 3-II 4-I 5-I 5-II	郷土史を次世代に伝え、研究する人材を育成することを目的に、学びの機会を提供するため。	参加者数 開催数 開催経費 収入	- 6回 -	- 5回 -	- 7回 -	216人 7回 -	・新型コロナウイルスによる中止はなく開催できた。 ・参加者のほとんどが60歳以上である。 ・若い方の参加が少ない。	継続	- - -				
25		歴史貴重資料企画展示	教育委員会事務局上野図書館		1-I 1-II 2-I 4-I 4-II 5-I 5-II	伊賀市上野図書館が所蔵する貴重な歴史資料をテーマを決め、展示することで、郷土の歴史や文化について知る機会を設ける。また、展示により郷土への愛着心や興味を養い、調べ物や貸出にもつなげていくため。	参加者数 開催数 開催経費 収入	- 6回 -	- 4回 -	- 4回 -	4回 4回 -	伊賀市上野図書館が所蔵する貴重な歴史資料をテーマを決め、展示することで、郷土の歴史や文化について知る機会を設ける。また、展示により郷土への愛着心や興味を養い、調べ物や貸出にもつなげていくため。	継続	- - 4回 -				
26		ふるさと学習事業『先人に学ぶわら細工「しめ飾り」を作ろう』	教育委員会事務局生涯学習課		1-II 2-I 2-II 5-I	子どもたちが心身ともにゆとりのある生活を送るため、郷土の産業や伝統文化・環境などの体験を通し、ふるさとの良さを再発見するとともに、多くの友達との仲間づくりの機会を与えることを目的とする。	参加者数 開催数 開催経費 収入	140人 7回 100,000円 100,000円	98人 4回 68,644円 68,644円	140人 7回 100,000円 100,000円	27人 1回 円 円	青少年健全育成の観点から事業目的に沿った効果が得られるよう継続して子どもたちへの交流・学びの提供に努める必要がある。	継続	- - -				
27		親子で歩こう！秋の城下町	教育委員会事務局文化財課生涯学習課	上野文化美術保存会	2-I 2-II 5-I	上野城下町や上野天神祭に触れ親しみ合う機会づくりの提供(上野天神祭県費補助の活用事業)小学生とその保護者を対象に開催し、伝統文化に関する学びや施設見学を通して自分たちの地域に誇りを持ち、伝統文化に関心を持つ機会とする。	参加者数 開催数 開催経費 収入	25人 1回 0円 0円	15人 1回 0円 0円	20人 1回 0円 0円	31人 1回 0円 0円	だんじり乗車体験など子どもだけでなく大人にも体験し、地域で行われている祭りについて興味を持ってもらえた。	継続	- - 0円 0円				
28		芭蕉祭(式典・月見の献立・全国俳句大会等)	企画振興部文化振興課(公財)芭蕉翁顕彰会(一部委託)		1-I 2-I 4-II 5-I 6-I 6-II 7-I 7-II	俳聖松尾芭蕉の功績を称え偉業を偲び、俳諧及び俳句の啓発と、芭蕉翁生誕地のPRを進める。	参加者数 開催数 開催経費 収入	10人 1回 10,588,000円 0円	7人 1回 10,308,000円 0円	200 1 9,423,000円 0円	150 1 9,423,000円 0円	コロナ禍の状況により令和4年度は感染症対策を行い式典を開催した。今後も感染症等の状況により開催規模や内容を判断して実施する。	継続	- - 200人 1回 9,423,000円 0円	6-3 文化・芸術	満足度 57.3%	54.5%	
29	新	芭蕉生誕380周年	企画振興部文化振興課		1-I 2-I 4-II 5-I 6-I 6-II 7-I 7-II	2024(令和6)年にあたる芭蕉翁の生誕380周年を記念した事業を行い、芭蕉翁生誕の地である伊賀市の文化振興、シビックプライドの醸成を図る。	参加者数 開催数 開催経費 収入	(R3は事業計画なし)	- - -	- - -	- - -		継続(周年事業)	- - 5,000,000円 -				
30		芭蕉翁俳句懸垂幕掲示	企画振興部文化振興課		1-I 4-II 5-I 5-II 6-I 6-II	芭蕉翁の生誕地であることをPRするとともに、市民等に芭蕉の句に親しんでもらうことを季節に合った「芭蕉の俳句」の懸垂幕を掲示し啓発に努める。	参加者数 開催数 開催経費 収入	- 4回 132,000円 0円	- 0回 0円 0円	- 4回 132,000円 0円	- 0回 0円 0円	新型コロナウイルス感染症が広まったため、俳句啓発の掲示は不適切との指摘があり、掲示を控えていた。時期を見計らって再開したい。	継続	- - 4回 158,400円 0円				
31		芭蕉翁記念館ギャラリートーク	企画振興部文化振興課		1-I 3-I 4-I 4-II 5-I 5-II 6-I	芭蕉翁記念館の展示について解説し理解を深めてもらうとともに、展示の観覧に付加価値を与えリピーターの増加を図る。	参加者数 開催数 開催経費 収入	65人 13回 0円 0円	88人 11回 0円 0円	80人 12回 0円 0円	112人 13回 0円 0円	予定通りに実施。ボランティアガイドさん中心の参加が状態化していたが、ギャラリートークの認知度が上がり、参加者も多様化してきた。	継続	- - 96人 12回 0円 0円				
32		元永定正生誕100周年記念展覧会	企画振興部文化振興課		1-I 1-II 4-II 5-I	子どもをはじめとした市民が、元永定正氏の高度な芸術作品に触れる機会を創出し文化振興につなげるとともに、作品の背景や人物像を発信することで、シビックプライドの醸成を図る。また、SNSなどを通じて元永定正氏の「ふるさと」としてアピールし、コロナ禍で低下した文化芸術活動や観光誘客の活性化につなげる。	参加者数 開催数 開催経費 収入	(不定期開催のためR3は実施なし)	- -	3,000人 -	3,633 -	有料入場者数は目標数未達成だったが、交付金制度を利用し収入を確保することが出来た。	中止・廃止	- -				

【基本方針5】歴史と風土が育む文化芸術の継承と新たな文化芸術の創造(施策の方向Ⅰ郷土が育んできた歴史・文化の再評価、Ⅱ新しい文化芸術の創造)

No.	新	事業名	事業の実施主体	協力・連携先	プラン基本方針	事業目的	R3				R4				R4 目的達成度、課題など実施により感じたこと	R5 方向性	R5 計画時	市総合計画 施策	まちづくりアン		
							計画時	実績	計画時	実績	計画時	実績	計画時	実績					R3	R4	R4速報値
33		しぐれ忌	企画振興部 文化振興課 (公財)芭蕉翁顕彰会 (再委託 山出区)		1-I 2-I 4-II 5-I 6-I 6-II 7-I 7-II	俳聖松尾芭蕉の功績を称え俳業を偲び、俳諧及び俳句の啓発と、芭蕉翁生誕地のPRを進める。	参加者数 100人 開催数 1回 開催経費 - 収入 0円	-	50人 1回 0円	100人 1回 0円	80人 1回 0円	前年度はコロナ禍で中止となったが、今年度は開催することができた。新型コロナウイルス感染拡大防止のため対策を行うことで、継続して実施することができた。	継続	100人 1回 0円							
34		しぐれ忌俳句大会	伊賀支所	しぐれ忌俳句大会実行委員会	1-I 5-I	俳句啓発、文化交流に寄与すること	参加者数 120人 開催数 1回 開催経費 290,000円 収入 20,000円	0人 0回 924円	100人 1回 280,000円	90人 1回 254,464円	10,000円	前年度はコロナ禍で中止となったが、今年度は開催することができた。目的はほぼ達成されているが、参加者が固定化してきている。	継続	100人 1回 280,000円 10,000円							
35		土芳を偲ぶ俳句会	企画振興部 文化振興課 (公財)芭蕉翁顕彰会 (委託)		1-I 2-I 4-II 5-I 6-I 6-II 7-I 7-II	芭蕉翁とその弟子である土芳の功績を世に発信し、俳諧及び俳句の啓発を推進する。	参加者数 30人 開催数 1回 開催経費 - 収入 0円	35人 1回 0円	30人 1回 0円	25人 1回 0円	新型コロナウイルス感染拡大防止のため対策を行うことで、継続して実施することができた。	継続	30人 1回 0円								
36		文部科学大臣賞選考・歌枕俳枕講座	企画振興部 文化振興課 (講座開催は生涯学習課「悠々講座」として)		1-I 5-I 6-I 6-II 7-I	芭蕉翁の一環として、連句、俳諧、俳句などの俳文学関係者書優秀作を表彰し、俳句啓発に繋げる。	参加者数 200人 開催数 1回 開催経費 - 収入 0円	25人 1回 0円	200人 1回 0円	66人 1回 0円	WEB配信と合わせて実施したことで遠方の方も参加された。	継続	200人 1回 0円								
37		文学振興事業	企画振興部 文化振興課 伊賀文学振興会(委託)		1-I 2-I 3-II 5-I 5-II 7-I	伊賀にゆかりの作家、作品の顕彰等を通じて、地域文化としての文学の振興を図る。	参加者数 - 開催数 1回 開催経費 400,000円 収入 -	-	100人 1回 2,266,200円	112人 1回 1,468,380円	128,000円	岸宏子氏の生誕100年を迎え、記念事業を行うことで、岸宏子氏やその作品を広く知ってもらうことができた。	継続	- - 400,000円							
38		いがまち3偉人展示	伊賀支所	いがまち3偉人顕彰会	2-I 4-I 4-II 5-I	文豪横光利一、俳聖松尾芭蕉、医学博士橋本策の偉業を讃え、顕彰を行う。	参加者数 200人 開催数 通年 開催経費 - 収入 -	50人 通年 -	50人 通年 -	10人 通年 -	コロナ禍の影響もあり計画より見学者が少ない。今後は周知に努めたい。	継続	50人 通年 -								
39		上野天神祭お囃子体験会	教育委員会事務局 文化財課	生涯学習課・上野文化美術保存会	3-I 3-II	江戸時代から語り継がれてきた無形民俗文化財の継承(上野天神祭祭費補助の活用事業)	参加者数 10人 開催数 1回 開催経費 0円 収入 0円	8人 1回 0円	10人 1回 0円	27人 1回 0円	祭りが開催されたためか、想定よりも多くの参加者が集まった。昨年度は盛沢山のスケジュールであったため、内容を絞って開催したことで集中して取り組んでもらえたかと思う。	継続	10人 1回 0円	6-4 歴史・文化遺産	満足度 64%	参画度 37%	59%	39%			
40		オオサンショウウオ観察会	教育委員会事務局 文化財課	生涯学習課・大山田郷土の広場	2-I 4-I 4-II 5-I	特別天然記念物に触れ親しみ合う機会づくりの提供	参加者数 10人 開催数 1回 開催経費 9,000円 収入 0円	4人 1回 7,258円	10人 1回 9,000円	9人 1回 0円	中止が続く、例年開催している日程を変更したことによって無事開催することが出来ました。発見には至りませんでした。安全面には十分配慮して観察会を実施しました。	継続	10人 1回 9,000円								
41		中世城館現地説明会	大山田郷土の広場	教育委員会事務局 文化財課	1-I 2-I 4-II 5-I	伊賀市は古代伊賀国より都に隣接した地域であり歴史や文化が豊かに残されている。数多く残された文化財の保存と継承には地域の理解や協力が不可欠であり、文化財の所有者等の協力により文化財の公開等を実施し、伊賀市の歴史や文化を理解を深め、文化財の保存と継承を図りたい。	参加者数 30人 開催数 1回 開催経費 0円 収入 0円	-	30人 1回 0円	19人 1回 10,552円	寺岡光三氏を講師に迎え、中世城館について講話を聞いたのち、徒歩で江村氏城、福地氏城、重瀬氏城を見学した。	継続	30人 1回 0円								
42		史跡伊賀国庁跡にかかる文化財ウォーク及び文化財講演会	府中地区住民自治協議会	教育委員会事務局 文化財課	1-I 2-I 5-I	史跡伊賀国庁跡の保存整備事業に伴い、史跡伊賀国庁跡や府中地区の歴史・文化の理解を深め、文化財の保存と継承を図っていくため、文化財ウォーク(秋)と文化財講演会(冬)を実施している。	参加者数 40人 開催数 2回 開催経費 0円 収入 0円	-	40人 2回 0円	170人 2回 0円	府中地区文化祭にて考古資料に触れてもらえるようミニ展示を10月29、30日に実施。文化財ウォークを11月24日に実施し、今年度は上野城下町旧大和街道を道々の見どころについて説明を受けながら歩きました。	継続	40人 2回 0円								
43		文化財連続講座	教育委員会事務局 文化財課	(公財)伊賀市文化都市協会	1-I 2-I 5-I	伊賀市は古代伊賀国より都に隣接した地域であり歴史や文化が豊かに残されている。数多く残された文化財の保存と継承には地域の理解や協力が不可欠であり、身近な文化財等を題材としながら伊賀市の歴史や文化を理解を深め、文化財の保存と継承を図りたい。	参加者数 50人 開催数 1回 開催経費 0円 収入 0円	-	30人 1回 0円	-	新型コロナウイルス感染拡大防止により具体的な講座を実施できなかった。	継続	50人 1回 0円								
44		三重県指定有形文化財(建造物)春日神社拝殿保存修理事業にかかる公開講座	(宗)春日神社	教育委員会事務局 文化財課	1-I 2-I 4-I 5-I	文化財建造物春日神社拝殿の保存修理事業に伴い地域の文化財の大切さを伝え、文化財を知る機会の提供。	参加者数 60人 開催数 1回 開催経費 10,000円 収入 0円	57人 1回 10,000円	60人 1回 15,000円	50人 1回 15,000円	春日神社拝殿保存修理事業にかかる講演会を実施予定。過去のアンケートにより拝殿修理完了への期待、地域の歴史・文化等の更なる調査や発表が望まれているため実施したい。一方、新型コロナウイルス感染拡大の状況やその予防に配慮した講座を実施する。	中止・廃止	- - -								
45		大山田郷土資料館企画展	大山田郷土の広場	教育委員会事務局 文化財課	1-I 4-I 4-II 6-I	大山田地域の文化や歴史遺産に触れ親しみ合う機会づくりの提供	参加者数 100人 開催数 2回 開催経費 36,000円 収入 0円	354人 2回 36,000円	100人 2回 36,000円	232人 2回 36,000円	第3回企画展「竹と暮らし」関連企画「竹細工のワークショップ」第4回企画展「中世城館」	継続	100人 2回 40,000円								
46		三重大学伊賀連携フィールド市民講座	三重大学伊賀連携フィールド	三重大学、上野商工会議所、企画振興部地域創生課	1-II 5-I 5-II 6-I	三重大学伊賀連携フィールドを拠点として、国立大学法人三重大学、上野商工会議所、伊賀市の三者間で連携協力し、教育・文化・研究の推進を図るとともに、地域振興上の諸課題に適切に対応することにより、伊賀地域の充実・発展に資する。	参加者数 1,400人 開催数 - 開催経費 - 収入 -	6,151人 - -	6,200人 - -	約6,500人 - -	実績はオンライン動画再生回数+対面開催の参加者数を記載している。実績は前年度より増加しており、コロナ禍の収束に伴い、対面講座が復活するなどコロナ前の状況に戻つつある。	継続	7,000人 -	6-6 定住・関係人口	満足度 42%	参画度 21%	40%	22%			

【基本方針6】観光・産業との連携による文化芸術の全国発信(施策の方向Ⅰ文化をツールとした地域活性化、Ⅱ都市の文化的な顔づくり)

No.	新	事業名	事業の実施主体	協力・連携先	プラン基本方針	事業目的	R3				R4				R4 目的達成度、課題など実施により感じたこと	R5 方向性	R5 計画時	市総合計画 施策	まちづくりアン		
							計画時	実績	計画時	実績	計画時	実績	計画時	実績					R3	R4	R4速報値
47		伊賀上野・城下町のおひなさん	伊賀上野・城下町のおひなさん実行委員会 (産業振興部 観光戦略課)	上野西部地区住民自治協議会産業建設まちづくり部会・上野東町自治会・上野中町自治会・東町商店街振興組合・上野中町商店会・七福神商店会・三重県菓子工業組合上野支部・伊賀鉄道株式会社・一般社団法人伊賀上野観光協会・上野商工会議所・株式会社まちづくり伊賀上野・中町活性化委員会・名阪上野ドライブイン・公益財団法人伊賀市文化都市協会・伊賀焼振興協同組合・朋着付作法学院・全日本和装作法伊賀学	6-I	中心市街地である城下町の風情ある街並みや観光資源をアピールし、集客交流の促進、地域の活性化や振興を目的に実施する。	参加者数 1500人 開催数 1回 開催経費 330,000円 収入 330,000円	1300人 1回 132,910円	1,500人 1回 330,000円	1,522人 1回 301,947円	467,398円	現在行政が事務局となり、主として事業を進めているが、今後も事業を継続していくのであれば、企画運営を実行委員会が主体となって行っていく必要があると感じた。	継続	1,500人 1回 481,000円	3-1 観光	満足度 50.4%	参画度 42.2%	46.1%	44.1%		

【基本方針6】観光・産業との連携による文化芸術の全国発信(施策の方向Ⅰ 文化をツールとした地域活性化、Ⅱ 都市の文化的な顔づくり)																	
No.	新	事業名	事業の実施主体	協力・連携先	プラン基本方針	事業目的	R3計画時	R3実績	R4計画時	R4実績	R4目的達成度、課題など実施により感じたこと	R5方向性	R5計画時	市総合計画施策	まちづくりアン	R3	R4速報値
48		伊賀ぶらり体験博覧会 いがぶら	産業振興部 観光戦略課 いがぶら実行委員会	伊賀市・株式会社まちづくり伊賀上野・上野商工会議所・伊賀市商工会・株式会社大田酒造・伊賀上野ケーブルテレビ・一般社団法人伊賀上野観光協会・公益財団法人伊賀市文化都市協会ほか	6-I	観光客を受け入れ事業主体を全市的に発掘・育成し、着地型観光を推進することを目的とする。	参加者数 2,000人 開催数 2回 開催経費 8,030,000円 収入 8,030,000円	1,917人 3回 7,384,711円 8,655,812円	13,000人 1回 8,232,000円 8,232,000円	1,330人 1回 6,349,443円 8,237,822円	特になし	継続	1,460人 1回 9,159,000円 9,159,000円				
49		日本遺産 忍びの里伊賀・甲賀～リアル忍者を求めて～忍びの里伊賀甲賀忍術協議会事業	産業振興部 観光戦略課 忍びの里伊賀甲賀忍術協議会	伊賀市・甲賀市・伊賀市教育委員会・甲賀市教育委員会・一般社団法人甲賀市観光まちづくり協会・信楽町観光協会・一般社団法人伊賀上野観光協会	1-II 3-II 4-II 6-I	日本遺産の認定(平成29年4月28日認定)を受けた伊賀・甲賀が世界に誇る共通の観光資源である忍者について、伊賀流と甲賀流が連携することで、広域的に観光振興を図ることを目的とする。	参加者数 来訪者 開催数 満年 開催経費 6,510,000円 収入 6,510,000円	ガイド養成講座 延べ73人 5回 5,870,330円	ガイド育成講座(初級編・上級編)120人 3回 9,230,000円 9,230,000円	忍びの里伊賀甲賀忍術協議会が作成した地域活性化計画に基づき、事業を推進した。	継続	各市の主要忍術関連施設の来訪者数(伊賀流忍術博物館・甲賀流リアル忍術館) - 3,233,000円 3,233,000円					
50		ライトアップイベントお城のまわり	お城の周りライトアップイベント実施委員会(産業振興部中心市街地推進課)	伊賀市文化都市協会・伊賀上野観光協会・上野商工会議所・まちづくり伊賀上野	6-I 6-II	市街地の歴史的・文化的建造物等をライトアップすることで、地域資源のすばらしさを市民及び来街者に再確認してもらう。	参加者数 3,000人 開催数 1回 開催経費 1,500,000円 収入 1,500,000円	- - 3,110,000円 -	10,000人 1回 2,253,488円 28,000円	コロナ禍以前と比較すると来場者は減ってはいるものの、ワードラリーと一緒に実施多アンケートの結果満足度は高い。	継続	10,000人 1回 3,110,000円 0円	3-4 中心市街地活性化	満足度 29.5% 参画度 37.4%	30.9% 41.5%		

【基本方針7】文化芸術を通じた社会的課題への取り組み(施策の方向Ⅰ 社会参加のきっかけづくり、Ⅱ 協働の場の創造)																	
No.	新	事業名	事業の実施主体	協力・連携先	プラン基本方針	事業目的	R3計画時	R3実績	R4計画時	R4実績	R4目的達成度、課題など実施により感じたこと	R5方向性	R5計画時	市総合計画施策	まちづくりアン	R3	R4速報値
51		人権を考える市民の集いほか(差別をなくす強調月間中の人権講演会等各地区つどい事業)	人権生活環境部 人権政策課 教育委員会事務局	人権啓発地区草の根運動推進会議連絡会、伊賀市人権擁護委員協議会、伊賀市同和教育研究協議会	1-I 2-I 3-I 7-I 7-II	11月11日から12月10日の差別をなくす強調月間に、各支所において人権講演会や人権コンサートを実施し、市民の人権意識の高揚を図る。	参加者数 970人 開催数 6回 開催経費 3,107,000円 収入 0円	903人 5回 2,547,000円 0円	1,000人 5回 2,591,000円 0円	606人 5回 1,148,730円 0円	11月22日に伊賀市文化会館で行った人権講演会を録画し、録画上映会として各支所で実施したところ、成果は一定あがったが、地域の取り組みとして実施してほしいという声も受けており、より地域性のある取り組みとして計画していく必要がある。	継続	1,000人 5回 1,266,420円 0円	5-1 人権尊重・非核平和	満足度 59.9% 参画度 47.8%	58.6% 46.5%	
52		いきいき未来いが開催事業	いきいき未来いが実行委員会 人権生活環境部 人権政策課	伊賀市男女共同参画ネットワーク会議	1-I 1-II 2-I 7-I 7-II	男女がともに、男女共同参画の意義・目的を学びあい、性別に関わらずあらゆる場へ参画できる社会の実現をめざす。	参加者数 300人 開催数 1回 開催経費 791,000円 収入 0円	256人 1回 771,094円 0円	300人 1回 972,630円 480,000円	385人 1回 785,127円 387,000円	参加を公募しているものの、関係団体からの参加が多いためアンケート結果が目標を大きく超えてよい結果となっている。よくて当たり前という見方もあるが、この層をきっかけに広く全体の意識改革を目指していくため、意味のある結果と考える。しかし先述のとおり、広く一般に認知されておらず関係団体以外からの参加者が少ない。また、年齢層も50歳以上の参加者が88%と若者の参加が少ない。働く世代をターゲットにするため、協賛企業等の団体への広報を強化する等、新たな広報手段を模索する必要がある。	継続	400人 1回 1,157,315円 572,000円				
53		ひゅーまんフェスタ	ひゅーまんフェスタ実行委員会 人権生活環境部 人権政策課	伊賀市、伊賀市教育委員会、伊賀市障害者福祉連盟、伊賀市国際交流協会、伊賀市人権擁護委員協議会、部落解放同盟伊賀市協議会、伊賀市人権学習企業等連絡会、人権啓発地区草の根運動推進会議連絡会、僕らの移住生活	1-I 2-I 7-I 7-II	「伊賀市人権尊重都市宣言」に則り、すべての市民の人権が保障される明るく住みよい地域社会を築くために、市民一人ひとりが、さまざまな人権課題の解決に向けて、さまざまな視点から学び、考え、行動するきっかけとなること	参加者数 100人 開催数 1回 開催経費 589,000円 収入 0円	100人 1回 151,000円 0円	100人 1回 632,000円 0円	125人 1回 427,313円 0円	・計画よりは多くの集客があったが、展示ブースによっては、参加者が少ないところがあった。 ・事務局任せの開催となっており、実行委員会が機能していない。実行委員会形式での開催について再検討する必要がある。	継続	180人 1回 488,528円 0円				
54		崇広中学校校区地域ぐるみヒューマンフェスタ	人権生活環境部 八幡町市民館		1-I 2-I 7-I 7-II	学校・幼稚園・保育所(園)・家庭・地域が連携し、地域ぐるみで相互の教育力を高める実践活動を行うことを通じて、部落差別をはじめとするあらゆる差別をなくしていくための豊かな人権感覚をもった子どもを育てるとともに、教育関係者・保護者などの人権を尊重する意識を高める。	参加者数 2,000人 開催数 1回 開催経費 480,000円 収入 0円	- - 480,000円 -	2,000人 1回 480,000円 0円	コロナ禍により開催中止。	継続	2,000人 1回 480,000円 0円	5-2 同和問題	満足度 58.6% 参画度 44.6%	57.4% 43.7%		
55		やはた文化祭【作品展示会】	人権生活環境部 八幡町市民館		1-I 1-II 2-I 2-II 7-I 7-II	八幡町市民館、久米町市民館、木興町市民館及びひろなみ児童館、八幡町教育集会所では、1年を通して活動してきた児童・生徒の学習や各種教室の成果発表の場として開催することで、地域内での人権意識を高め、周辺地域住民との交流を深める。	参加者数 300人 開催数 1回 開催経費 151,000円 収入 0円	- - 151,000円 -	300人 1回 97,896円 0円	296人 1回 97,896円 0円	コロナ禍の鎮静化に伴い、開催する事が出来た。例年度から開催場所を変更し、高齢者などの足の不自由な方からも見やすくなったと好評を得られた部分もあったが、一般市民からの応募作品が少なかつたため、より効果的な告知を考える必要がある。	継続	300人 1回 151,000円 0円				
56		ライトピアおおやまだ「梅まつり」	人権生活環境部 ライトピアおおやまだ		7-I 7-II	「一人ひとりを認め合い、地域がいきいきと輝く本当の人権のまちづくりとは何かなどの要素を交えた演出と、地域住民相互のふれあいや、語り合うこととおして、人権について学べる祭りの開催」という趣旨を大山田から伊賀市全体に呼びかけていくこと。	参加者数 200人 開催数 1回 開催経費 435,200円 収入 0円	- - 435,200円 -	100人 1回 435,200円 0円	79人 1回 387,320円 0円	新型コロナウイルスまん延により3年ぶりの開催であり、事業実施の経験があるものが1人しかいない中、無事実施できた。今後の課題として、地元の団体の出演が1団体のみであり、地元の催し物としては寂しい状態であった。	継続	100人 1回 435,200円 0円				